

社会福祉法人あおば福祉会
おひさま岡町保育園
2022年度（第22年度）事業報告

はじめに

2022年度より管理職が交代し、新体制でスタートしました。職員一人ひとりが理念や基本方針に基づき、こども・保護者・職員・地域の視点で安定した運営に取り組むことができました。運営体制は園長・主任3名（保育・給食・事務）とフロア責任者4名の8名で定期的に会議を開催し、園運営の方針を確認し実施してきました。

本園分園も1つの保育園という認識で一体的運営になるよう、会議の在り方や保育の共有に努めてきました。園内行事などはコロナ感染症の状況を踏まえつつ、行事の意味も検討し、合同開催や年齢ごとの開催など創意工夫を行い開催しました。幼児クラスはお泊り保育や合宿、園外保育の取り組みと「食育・身体づくり・表現」を大切に保育実践が充実しました。乳児の1歳児を高月齢・低月齢の2グループで1階2階の生活に分け、生活することで、2023年度には0.1歳児れんげ組を創設することにつながりました。

保護者支援についても保育参加や参観、懇談会も通常通り行い、良好な関係を築くことができました。幼児クラスの保護者から「子どもたちの言葉や乱暴な言葉が気になります」とのご意見から、クラス担任が子どもたちと話し合い、おたより等で伝え、保護者の方も言葉について考える機会を持つことができました。年間のまとめの会議でも集団討議し、2歳児でも共に考えあうなど、大切な学びとなり保育につながりました。

地域との関係では、防音壁工事に取り組むことで、これまでの関係を大きく修復し、今では、新たな保育の取り組みに対しての理解にも深まっています。建設当初に決めた約束を誠実に遂行していくことで、信頼関係を築いていく1年となりました。

1 こどもの入園状況

定員：90名（3歳以上児45名・3歳未満児45名）

定員	支援児 障害児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15名	0名	4	6	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	100
15名	0名	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
15名	0名	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
15名	0名	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
15名	1名	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
15名	0名	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
90名	1名	80	82	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	1012

一時保育事業

利用年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳児	1	3	4	4	4	16	16	8	9	11	16	27	119
2歳児	7	16	33	27	22	22	20	17	15	12	22	19	232
3歳児以上	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
利用延べ人数	17	19	37	31	26	38	36	25	24	23	38	46	360

2 保育体制と職員の状況

民間給与改善費適用＝1人当たり平均 11年

令和4年4月1日現在 正規平均年齢 33.1歳 全職員 42歳

正規職員・・・ 18名

園長1名・副主任3名(内保育士2名・栄養士1名)

保育士15名・栄養士2名

	氏名	年月日	異動先
異動者	川上 真由	令和5年3月31日	おひさま保育園
	山野井 美穂	令和5年3月31日	箕面保育園
	上田 紘子	令和5年3月31日	岸部保育園
退職者	元地 亜未	令和5年3月31日	

パート職員・・・ 23名

・常勤パート職員・・・ 13名	保育士7名・看護師3名・栄養士1名・保育補助1名・調理師1名
・短時間パート職員・・・ 10名	保育士3名・調理師2名・保育補助3名・事務1名・警備1名
・シルバー(含まず)・・・ 2名	見守り2名
<u>嘱託医・・・ 4名</u>	内科 歯科 眼科 耳鼻科

3 子どもの安全と健康・危機管理

リスクマネジメント・危機管理学習会と事故・災害対応

- ・乳児クラスの午睡室の扉やコンクリート柱の老朽に伴う木質化補修、机収納、掲示板のマグネット化など、子ども達の安全に配慮し、修繕等を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に基づき、外部手洗いの自動水栓化やICTの非接触システムの導入などに取り組み、1歳児室にトイレを増築し、感染症対策を行いました。
- ・本園の玄関屋根については、劣化し外れる可能性があった為、更新しました。
- ・分園は、近隣への防音対策を強化するため、防音壁工事をを行い、音の軽減に伴い、泥んこあそびやプールあそびなどたっぷり楽しむことができました。
- ・給食室の空調・ガスレンジが老朽化した為、更新しました。
- ・非常災害対策計画に基づき、毎月の訓練及び点検を行いました。
- ・安全計画の策定に向け、マニュアルの見直しを行い、計画を策定し、職員に周知しました。

危機管理に対して学習と保育への繋がり

- ・SIDS対策として消防隊員より救命救急訓練を5月23日(月)に実施し職員26名参加しました。
- ・保育の中でおこった事故やけがの検証をし、気づきを職員会議等を出し合い情報を共有しました。ヒヤリハット(軽微なケガを含む)は年87件の報告件数がありました。インシデント・アクシデント報告は16件内2件病院の通院事例がありました。

子どもの権利を守る保育の追求

- ・こどもの権利擁護や子どもを尊重した保育、児童虐待防止に関して等、具体的な内容を会議で討議し、職員の意識向上や保護者への周知徹底・援助を行いました。
- ・人権の観点から乳幼児における性教育について学習を行いました。2023年度はさらなる学びの場を設けていきます。
- ・不適切保育が社会的な課題となり、法人として調査アンケートを実施し分析結果を職員で共有しあいました。

保育環境・労働環境を守るための日々の点検

- ・保健安全については、身体づくり委員会、乳幼児会議で議論し、リスクマネジメントに関する意識を高めることに繋がりました。
- ・感染症予防においては、衛生推進者(看護師)、専門リーダーを中心にマニュアルの徹底、保護者への働きかけ、環境面への意識を高め、毎月の安全点検を行いました。

4 保護者の願いに応え、こどもと共に育ちあう関係を大切に!

法人理念や基本方針に基づきながら、地域や保育園の規模など特性を生かした保育を行いました。その中で保護者の要求や願いに応え、ともに育ちあう関係づくりに力を入れました。

- ・コロナ禍でも、保護者の思いや子どもたちの姿を共有する場として、感染防止に努めつつ、園全体で行事にとりくむことができました。
- ・春の懇談会、保育参加(5月)保育参観(6月)等を実施し、子どもたちの成長を確認し合いました。
- ・夏まつりは、第7波と重なり、保育の中で取り組みました。また、9月にはファミリーコンサート(サックス4重奏)を実施し、地域の方も含め、楽しい機会となりました。
- ・4歳児のお泊り保育は6年間実施していませんでしたが、子どもの育ちを職員で検討し、保護者にもお話しさせていただき、実施することができ、こどもの育ちを確かめ合う機会となりました。
- ・運動会やリズム参観に「こどももおとなも楽しむ」をテーマにし、喜びあえる取り組みとなりました。
- ・保護者の要求に応え、北支部のソフトボール大会やお母さんたちの要求から開催したバレーボール大会など開催し、職員も含め、気持ちのよい汗を流すことができました。

5 こども達が地域の中で育つことを大切にしたい地域活動をめざして（地域貢献事業）

地域に開かれた保育園を目指した地域貢献事業

- ・地域子育てサークル『さくらんぼ』に職員が参加し、地域支援を行いました。また、豊中子ども文庫連絡会とも連携し、文化の向上に努めてきました。
- ・園内地域活動『ぽっかぽかくらぶ』、前半期は参加者がゼロでした。後半は問い合わせが数件ありました。2023年度は年間計画の充実を行い、地域への呼びかけをさらに広げていくことを決めました。
- ・入園希望者の見学は年間 56 件あり、丁寧な説明を実施することで、0 歳児の入園が前年度より増え内 17 名が入園につながりました。
- ・一時保育の利用について、夏ごろに問い合わせが多くありましたが、利用率には変化はありません。
- ・高齢者お食事は、自治会とも相談し、2022 年度の実施を行わないことを決めました。

地域の教育機関・施設との連携

- ・豊中市こども相談課や中部保健センターと連携し、定期的な観察記録を実施し、モニタリング対象児 3 名の継続的な見守りを行い、年度末にはモニタリング対象者はゼロとなりました。

地域にとって大切な社会資源としての保育園をめざして

- ・実習生 7 名を受け入れ、未来の保育士養成につながり、地域の社会資源としての役割を果たすことができました。さらに実習生より就職に 1 名つながりました。
- ・小学生のボランティア体験 14 名・・高校生のボランティア 2 名を受入れました。

6 職員の資質向上をめざして

研修計画に基づき、職員一人ひとりの目標が達成できるよう面談を実施

- ・年間の保育テーマを掲げ、年 2 回の面談及び年 3 回のまとめの会議を行いました。

「実践」と「学習」が結びついた研修の実施と保育実践提案

- ・研修は 10 種類に分類し、学びを深めています。事業計画の講師依頼は取りやめ、園内研修を充実させ学びを深めました。年間の研修参加延べ人数は 424 名
- ・法人研修で中西綾子が提案し、2023 年の全国保育問題研究集会の提案につながりました。
- ・第 54 回 全国保育団体合同研究集会（高知）分科会：給食
『保育園に給食室は絶対必要』 実践提案 千田絵美
- ・大阪保育運動センター新任研修 講師 福井 茂

北支部内の施設連携の中での園外研修参加

- ・北支部内の 5 園で保育士の交換研修を行い、保育の中の気づきを持ち帰り、保育の質の向上に活かすことができました。
- ・民舞や表現あそび、泥んこあそびなど多彩な交流を実施することができました。

7 中長期計画に関して

2022 年度実施事業

1. 人材育成

- ・新体制に伴い、園長・副主任 3 名・乳児・幼児の 5 名で運営に責任を持ち、組織体制を構築しました。
- ・北支部豊中地域での連携を図り、会議や行事等を通して人材育成に努めました。
- ・育児相談員・スマイルサポーター（千田）の取得は 2023 年度受講としました。

2. 施設整備

総額 15,438,915 円

- ・分園園庭の防音対策工事を行い、近隣との関係構築に取り組みました。 9,856,240 円
- ・分園の避難経路の確保に向け、近隣との協定を結び、災害時の避難経路を確保しました。 332,200 円
- ・コロナ対策補助金の活用 5,250,475 円
（1 歳児室トイレの増築・分園の本棚を設置・感染対策に向け物品等の購入）

3. その他

- ・1 歳児低月齢と 1 歳児高月齢の編成で少人数保育を実現したことで、2023 年度は 0.1 歳児れんげ組創設につながりました。
- ・本園・分園の早朝・延長保育の常勤パートの雇用ができたことで、職員の働き方の軽減につながりました。

8 保健業務報告

1. 園児出欠表

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 出席率 (%)	74.4	76.0	80.2	68.9	62.8	76.2	79.8	83.7	68.9	74	81.2	76.3	75.2
② 病欠率 (%)	4.8	4.1	2.4	7.3	8.0	6.2	3.3	1.2	8.9	1.2	3.7	6.7	4.8
③ 都合欠席率 (%)	20.8	19.9	17.4	23.8	29.2	17.6	16.9	15.0	22.1	24.8	15.1	17.0	20.0

2. 歯科健診

クラス	園児総数 (人)	検診人数 (人)	検診結果			
			虫歯		清掃状態不良 歯垢・歯石	その他
			合計人数	合計本数		
0歳児	6	3	0	0		
1歳児	15	14	0	0		
2歳児	15	15	0	0	歯垢 1	上顎前突 3 開咬 2 咬唇癖 2 吸指癖 1
3歳児	16	15	3	10		エナメル質形成不全 1 口呼吸
4歳児	16	16	2	5	歯石 1	
5歳児	14	14	5	13		反対咬合 2

※乳児での齲歯はみられませんでした。

3. 事故報告

件数	発生日時	氏名	クラス	年齢	性別	災害場所	傷病名	診療科	治療日数
1	8月1日	A	すみれ	2歳9ヵ月	女	保育室	右上A左上A外傷性亜脱臼、 左上A外傷性破折	歯科	2
2	8月4日	B	つくし	1歳2ヵ月	男	保育室	右上A左上A外傷性亜脱臼	歯科	3

※2022年度より事故件数は減少がみられました。

4. 感染症発症状況

コロナ感染症に関しては2021年度末の卒園式の影響が4月にあったものの、大半が家族内感染で拡大には至りませんでした。2022年度は園児24名、職員13名が罹患しました。

乳児においては、RSウイルス感染症・手足口病の発症がみられました。幼児ではインフルエンザが12月と3月に発症がみられ、12月に罹患した児童が3月にも罹患する事例がありました。またインフルエンザは兄弟ケースで感染はみられたものの、乳児への感染拡大はありませんでした。

12月の幼児のインフルエンザ流行に関しては、バス遠足の前々日に解熱した児童参加により感染が流行しました。児童は病院での対面受診はしておらず、かかりつけ医への電話相談と自宅でのコロナウイルス抗原検査キットで陰性の結果を受け、遠足に参加し、次の日から体調不良を理由に欠席、その後、複数名が感染しました。

時期的には12月初旬でインフルエンザが流行しはじめていた頃ではありましたが、園に発症児童等はいませんでした。園から病院への受診やインフルエンザ検査を保育園側から保護者へは要望しておらず、バス利用に伴い感染が拡大した事例でした。

5. 予防接種

1歳児クラスに1名 3歳児クラスに2名 定期接種が接種できていません。保護者には予防接種の推奨をし、保健だよりを通じて集団免疫の重要性を伝えていくも、副反応を懸念しすすんでいない状況があります。

6. 体調不良児対応型保育

月別利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	10	11	19	11	33	7	0	10	10	13	19	151

4～10月の上半期は、大半が本園の乳児の利用です。特に0～1歳の発熱によるものが多く、同一児童の利用もみられました。

7. 保健のまとめ（特徴と考察）

2022年度は幼児クラスの園外保育の充実に伴い、身体づくりの保育実践に取り組みました。本来なら屋外活動に伴いケガや事故が増加するのではないかと考えていましたが、過去の状況から分析しても事故件数は屋内が多く、今後の保育の方向性がみえました。但し、屋外活動は、十分に危険予測できるものではなく、計画や配慮の視点を職員で確認し、保育活動の充実を行っていきます。

9 その他添付資料

1. 年次有給休暇取得状況

	正規職員		パート職員
	本年分	累積	本年度分
① 平均保有日数	16	26.1	12.6
② 平均取得日数	12.7	12.9	11.0
取得率 (②/①)	79.4	49.4	87.3

2. 職員研修一覧

研修の名称 研修の内容	参加研修名
施設長研修 (人事・労務・経理・制度等)	保育実践充実推進中央セミナー（内閣府・厚労省） 経営実態調査・財務・労務管理研修（社会福祉経営全国会議） 経営懇セミナー（全国民間保育園経営研究懇話会） 豊中こども財団
保育士等キャリアアップ研修 (乳児・幼児・マネジメント等)	キャリアアップ研修（障害児）（食育・アレルギー） キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）
人権研修 （府・市）	いのちを考える集会・性教育研修・憲法とジェンダー・虐待
保育士研修 (自治体・社協・保育士会・他)	子育て・子育て支援ネットワーク会議 保育教育施設 地域支援担当者研修 豊中こども財団 副園長交流集会・主任セミナー 全国保育合同研究集会・みんなで保育・子育てを考える集会 保育問題研究集会(全国・秋の研究集会)
防災研修 （防災・救急救命）	福祉のBCP・消防隊員による心肺蘇生法
法人研修 (歴史・制度・人権・保育内容)	他園・他施設研修 北支部実践報告研修 北支部法人研修（長く働き続けられる職場づくりであるために） 北支部法人研修（理念・基本方針、平和・実践）
自主研修 （分野別）	法人理念と命を守る保育 表現あそび・うた・踊り（姫田・圓山） 健康と安全・児童虐待防止 年齢別・領域別保育講座保育問題研究会・部会（乳児・美術・音楽・科学）

3. 地域活動報告

日程	内 容
9月22日	ファミリーコンサート
12月22日	人形劇団クラルテ

4. 実習生・ボランティア受け入れ報告

<実習生>

	実習養成校	学校種別	期間	実習日数	受け入れ人数
1	常盤会短期大学	短期大学	6月6日～6月18日	10日	1人
2	甲南女子大学	大学	8月15日～8月25日	10日	1人
3	甲南女子大学	大学	8月30日～9月9日	10日	1人
4	大谷大学	大学	9月5日～9月17日	12日	1人
5	常盤会短期大学	短期大学	11月7日～11月19日	12日	1人
6	池坊短期大学	短期大学	11月28日～12月9日	10日	1人
7	大阪青山大学	大学	2月6日～1月17日	10日	1人
合 計				74日	7人

<ボランティア>

今年度のボランティアの受け入れ総数は16名でした。

- ・小学生 14名（卒園児）
- ・高校生 2名（刀根山高校）（履正社高校）